クリニカル・パス（椎弓形成術:頚椎）

患者ID	0000000001	室
患者名	富士通　太郎　様	

担当医		
1.	2.	3.

看護師

＜適用基準＞
・脊椎病変である

＜除外基準＞
・急性感染症 ・麻酔科標準除外基準に相当する症例

＜退院基準＞
・創部感染がない ・発熱がない（37℃以下） ・創離開がない

病日	／（　）	／（　）			／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）
項目	入院1日目	手術当日			入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	入院9日目	入院10日目
	手術前日	術前	術中	術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目
治療目標	□ 手術に対する精神・身体的準備が整っている □ 発熱がない □ SPO2≧94%	□ 全身状態が手術可能である		□ 麻痺・しびれの増悪がない □ 意識障害がない □ 血圧が安定している	□ 麻痺・しびれの増悪がない □ 意識清明である □ 排尿障害がない	□ 創汚染がない □ 高熱がない	□ 創汚染がない □ 高熱がない	□ 発熱がない	□ 発熱がない			□ 創離開がない □ 術後合併症がない
看護目標	□ 手術・入院に対する不安が緩和できる □ 術前処置の協力が得られる			□ 安静保持と異常の早期発見ができる □ 苦痛の軽減ができる	□ 感染をおこさない	□ 早期離床ができる						□ 退院後の自己管理ができる
処置	□ リハビリ紹介			□ 頚部ソフトカラー装着 □ O2；3L（3時間後OFF）	□ SBドレーン抜去（カラヤヘッシブ3－C、ステープラーを準備して下さい） □ 尿道バルーン抜去 □ O2中止 □ カラヤ貼付 □ ガーゼ交換						□ 全抜鉤 カラヤ除去	
注射投薬				□ ソリタT4　500ml　×1 □ 生食注TN100ml＋セファゾリンナトリウム注射用1g　×1	□ ソリタT4　500ml　×1 □ 生食注TN100ml＋セファゾリンナトリウム注射用1g　×2	□ セフカペンピボキシル塩酸塩錠3錠　3×毎食後　5日分						
検査			□ ポータブル（頚椎2R） □ ポータブル（頚椎2R）		□ 3D－CT（頚椎） □ 血1、CRP、肝1、腎1、電1、血糖 □ 胸部X-P		□ 血1、CRP、肝1		□ 血1、CRP			
食事	□ 常食（21時以降絶食）	□ 絶飲食		□ 2時間後飲水開始	□ （朝）全粥	□ （朝）常食	□ →	□ →	□ →	□ →	□ →	
活動				□ ベッド上安静 □ 6時間後　45°ギャッジアップ可	□ ベッド上坐位可 □ ベッドサイド立位・歩行可（ソフトカラー装着は立位・歩行時のみ）（歩行器を使用） □ 頚部運動開始	□ 立位・歩行可（ソフトカラー装着）	□ →	□ →	□ カラー除去			
清潔	□ 入浴・シャワー浴				□ 全身清拭	□ 頚部より下シャワー可	□ →	□ →	□ →	□ →	□ →	□ 入浴・シャワー浴可
ケア説明指導	□ 入院療養計画書 □ 入院・術前オリエンテーション □ 術前IC □ 麻酔IC □ 手術室Ns訪問 □ 手術同意書確認 □ 麻酔同意書確認 □ 弾性ストッキング準備・説明 □ 術前検査データ確認 □ ソフトカラーの確認 □ 入院前服用薬確認 □ 服薬指導			□ 術後の結果説明								□ 退院指導
観察記録	□ 上肢運動麻痺 □ 下肢運動麻痺 □ 上肢しびれ □ 上肢痛み □ 下肢しびれ □ 下肢痛み	□ → □ → □ → □ → □ → □ →		□ 肩部痛 □ 肩甲骨部痛 □ 上肢運動麻痺 □ 下肢運動麻痺 □ 上肢しびれ □ 上肢痛み □ 下肢しびれ □ 下肢痛み □ 体動 □ 洗顔 □ 中腰・立位持続 □ 歩行状態 □ 排尿困難 □ 創部痛 □ 頚部痛 □ 臀部痛	□ → □ → □ → □ → □ → □